

## 第2章 本市の環境を取り巻く状況

### 1 本市の環境の現況

#### (1) 本市の概況

##### ① 位置・地勢

本市は、京都盆地の南西部に位置しており、西部と北部が京都市西京区、東部が京都市南区・伏見区、南部が長岡京市と接しています。

面積は 7.67 km<sup>2</sup>であり、東西の最大幅は約 2 km、南北の長さは約 4 kmと、南北に長い市域となっています。

その大部分は京都盆地の平坦な地形ですが、西部に丘陵地が見られます。

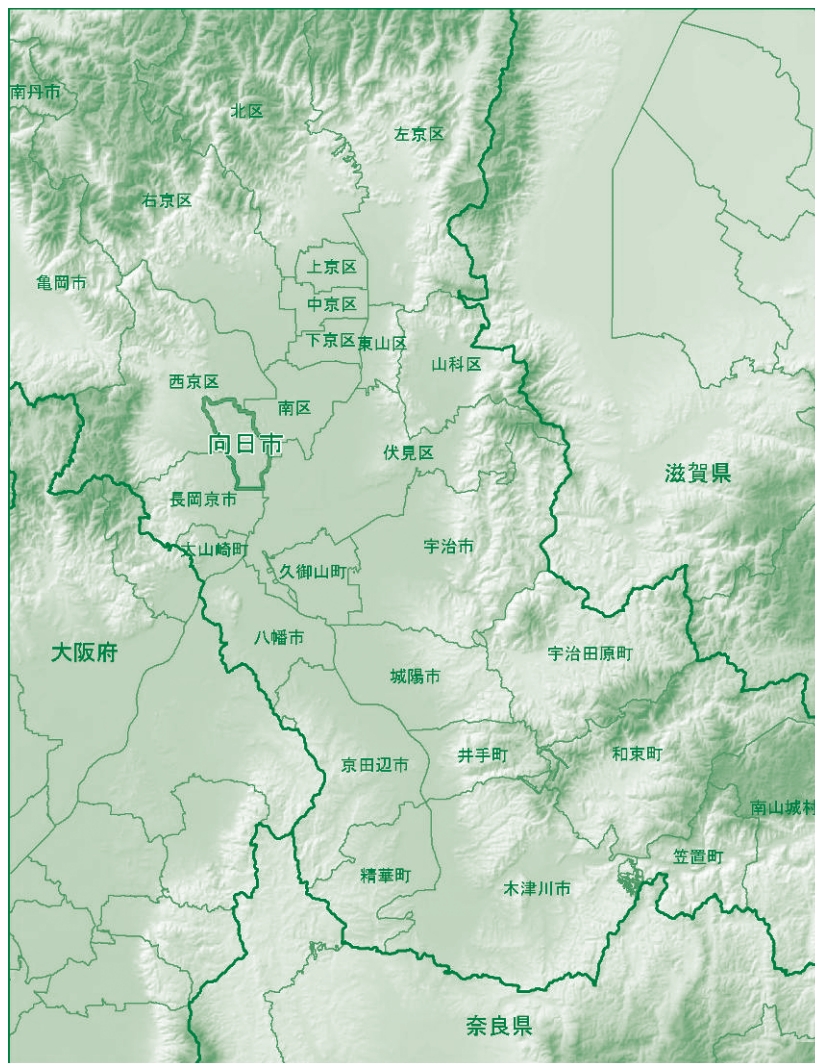


図 2-1-1 本市の位置

## ② 気候

本市の年平均気温は、16～17℃で推移しています。全体的に温和で過ごしやすい気候であるといえますが、盆地気候のため年較差は比較的大きいです。

また、降水量は夏季に多く、冬晴れの日が多い太平洋側の典型的な気候です。

経年的な変化をみると、2007年(平成19年)には最高気温が39.4℃を記録するなど、最高気温が35℃を越す猛暑日が増えています。

また、降水量は年間1,400mmを超える年と1,000mmを下回る年が見られますが、ここ数年は1,200mm程度となっています。

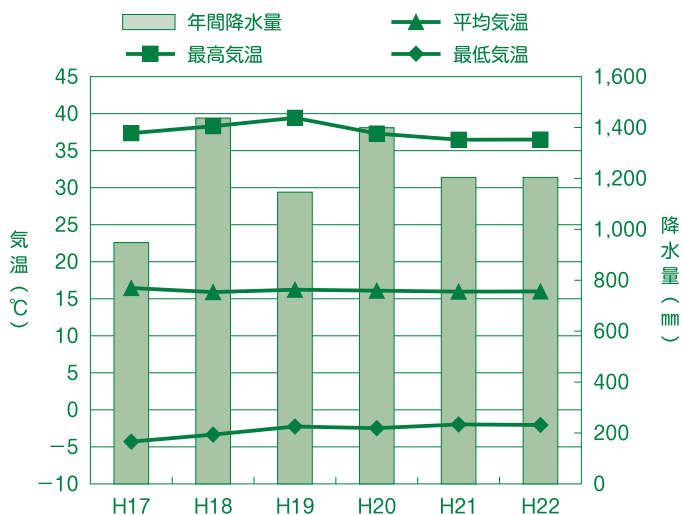


図 2-1-2 降水量と気温の推移

出典：向日市統計書

## ③ 人口・世帯数

本市の人口は、京都市や大阪府のベッドタウンとして宅地需要が高まったことを背景に、1960年(昭和35年)頃から急激な増加が見られました。1985年(昭和60年)以降はほぼ横ばいで推移してきましたが、近年は微増する傾向にあり、2005年(平成17年)には55,000人を超えました。その後若干減少し、2010年(平成22年)の人口は約54,300人となっています。

また、世帯数は1990年(平成2年)から約3,800世帯増加し、約20,000世帯を上回りました。

そのため、1世帯当たりの人口は2010年(平成22年)現在では2.55人に減少しています。

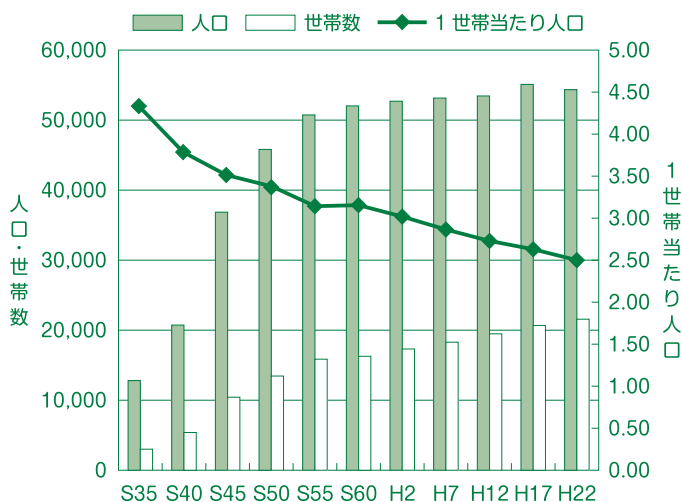


図 2-1-3 人口・世帯数の推移

出典：向日市統計書

④ 産業

本市における就業者数は約 26,500 人であり、そのうちの 70.0%が第3次産業に従事しています。第1次産業従業者は 1.3%と非常に少なく、産業構造として大都市近郊の特性が表れています。(図2-1-4)

主な産業を個別にみると、農業は、水稻を中心に特産物のタケノコ、ナス、花き(けんがい菊、ポインセチア、花壇苗)の生産が盛んです。製造業は、事業所数が 158 事業所、従業者数が 2,207 人です(平成 21 年経済センサス)。商業は、店舗数が 428 店舗(飲食店を除く)、年間商品販売額が約 660 億円となっています。近年、景気の悪化により、店舗数・販売額とも減少傾向にあります。(図2-1-5)

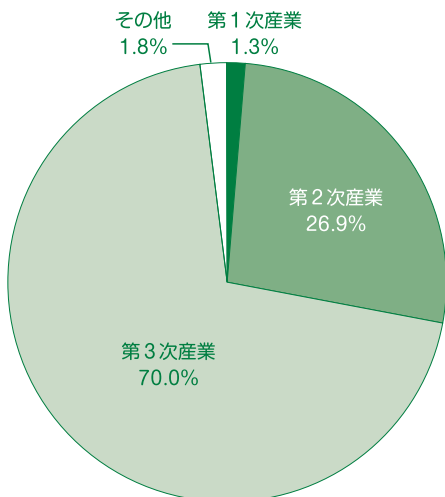


図 2-1-4 産業構造(平成 17 年)

出典：平成 17 年国勢調査

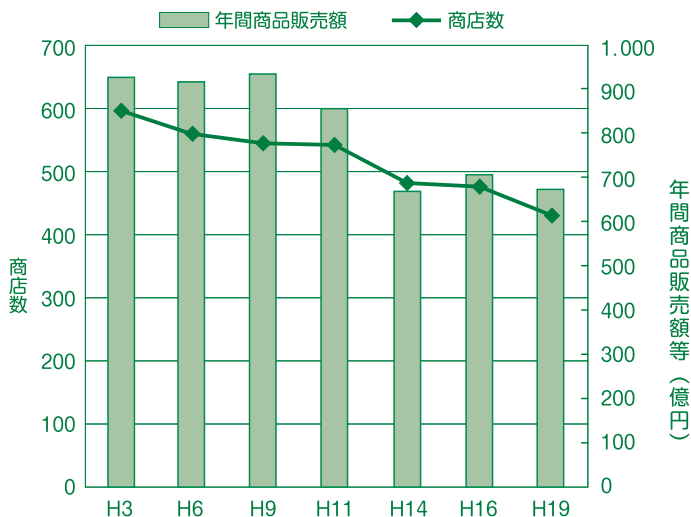


図 2-1-5 商業の推移

出典：平成 19 年商業統計調査